

## テーマ

中国語圏「修学(研修)旅行」企画コンペティション

## 目標

学習者レベル（初級終了レベル）

- 世界遺産や観光名所を調べることで学習言語の関連知識を得ることができる。
- 移動手段や物価などを調べることで地理や生活習慣に対する理解を深めることができる。
- 聞き手のニーズを考えて、聞き手に必要な情報を整理することで、自己満足なプレゼンテーションからのステップアップが図れる。
- 聞き手に中国（語）に対する興味を喚起できる。

## コミュニケーション能力指標

【話題分野：旅行】

- 修学（研修）旅行の企画立案に必要なニーズや情報を正確に入手することができる。
- 旅行で想定される場面に関する会話できる。
- 数字を用いた表現を身につけることができる。
- 世界遺産などの固有名詞を中国語で言える。
- web 辞書など語学学習に有益なツールやその利用方法を紹介できる。
- 世界史や地理の教科書で割愛されている知識を紹介できる。

## 学習シナリオ

&lt;場面状況&gt;

旅行会社の社員となり、グループごとに中国語圏への修学（研修）旅行プランを作成する【Plan(計画)】。作成したプランは文化祭で他社（グループ）とコンペティションを行い【Do(実行)】、高校教員・生徒保護者・その他来場者に修学（研修）旅行として相応しいプランに投票してもらい【Check(評価)】。後日、自己評価と来場者の投票や提案や意見をもとに資料を修正する【Action(改善)】。業務と学業の両面からPDCA サイクルを完結させる。

&lt;活動の流れ&gt;

- ①：2～4名のグループを作成し、各グループごとに中国語圏（中国大陸各都市、台湾、香港・マカオ、シンガポールなど）から旅行予定地を決める。
- ②：旅行者（学生）、保護者、修学（研修）旅行委員（教員）それぞれのニーズをインタビューする。  
※教員はグループごとに Google ドキュメント (Word)、スプレッドシート (Excel)、スライド (PPT) を用意する。  
※学生は Google のアカウントを作成して、アカウント名を教員に報告する。
- ③：旅行予定地から近い世界遺産などを調べ、修学（研修）面のメインイベントを決める。旅行のコンセプトとキャッチフレーズを考える。  
※旅行会社や観光業界について調査・研究を行う。旅行会社に実物のパンフレットを貰ってくる。
- ④：②を踏まえて使用する空港（国内と国外）、旅行予定地のホテルなどの地理を調べる。
- ⑤：為替レート、航空券代、ホテル代、その他の物価を調べる。

- ⑥：旅行予定地のマナー、文化の違い、注意・禁止事項などを調べる。
- ⑦：宿泊日数、予算、修学面以外のイベントを決める。  
 ※Google ドキュメント（Word）などで作業させていけば学校に行かなくても共同作業ができるので、ここまでを長期休業中の宿題にできる。さらに長期休業明けまで待たずに途中経過を評価できる。
- ⑧：旅行中に使用が予想される中国語を場面ごとに考える。  
 ※教員は発音指導と模範の発音を録音して音声データを学生と共有させる。  
 中国語圏に留学中の友人や姉妹校の学生などと連携を取ってもよい。
- ⑨：お勧めのお土産や旅行先の食事の値段と中国語を調べる  
 ※教員は発音指導と模範の発音を録音して音声データを学生と共有させる。
- ⑩：各グループの中間発表を行う。
- ⑪：スケジュールなどを考え、旅行者（高校生）向けの旅のしおり（ガイドブック）を作成する。  
 ※コマ数やグループの人数によっては割愛してもよい。
- ⑫：コンペティション（発表）で用いる発表資料を PPT で作成する。  
 ※作業時は Google スライドを用いる。
- ⑬：文化祭コンペティション会場に掲示するため（来場者向け）のポスターとして、旅行の概要や修学目的などを模造紙にまとめる。  
 ※コマ数やグループの人数によっては割愛してもよい。
- ⑭：コンペティションのプレゼンターは PPT を用いて口頭説明の練習、その他のメンバーは使用が予想される中国語の発音練習を行う。  
 ※文化祭で発表できる場合は、期間中に複数回の発表機会を設けて、各グループ全員が全ての役割を順番にこなせるようにするとよい。
- ⑮：文化祭当日は来場者に投票（評価）シートを配布してから、各社（グループ）発表を行う。  
 ※教員は発表をビデオ撮影する。
- ⑯：各社（グループ）で自己評価を行った後に来場者の評価を確認する。
- ⑰：各社（グループ）の発表動画を確認する。
- ⑱：他グループの学生と来場者からのフィードバック（投票）を踏まえて、作成した資料を改善する。

#### 総括的評価

- 発表時の作成資料（旅のしおり、掲示物、PPT）と発表終了後の修正資料
- メインプレゼンターとしての口頭発表と協力者としての中国語の発音
- 来場者の評価と自己評価

### 3×3+3分析

実践者: 上野振宇 / テーマ: 中国語圏「修学(研修)旅行」企画コンペティション

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 値段の尋ね方、値段交渉の言い方、決済手段の尋ね方の表現がわかる。</li> <li>• 場所を尋ねる表現がわかる。</li> <li>• 観光名所や名産などの中国語の発音がわかる。</li> <li>• 中国語の注意看板などから禁止内容を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界遺産などの観光名所の歴史的または文化的背景(価値)を理解する。</li> <li>• 文化、マナー、物価の違いを理解する。</li> <li>• 移動手段の種類を理解する</li> <li>• 中国語圏の国や地域の地理関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット(翻訳機能などを用いて)で、旅行に必要な現地情報を探ることができる。</li> </ul>
つくれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 値段の尋ね方、値段交渉の言い方、決済手段の尋ね方の表現を適切に説明できる。</li> <li>• 場所を尋ねる表現を適切に説明できる。</li> <li>• 観光名所や名産など中国語を正確に発音できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界史などの教科書で割愛されている知識を習得できる。</li> <li>• 目的地までの最適な移動手段とその費用と所要時間を調べられる。</li> <li>• 旅行に必要な費用を算出できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット(翻訳機能などを用いて)で、ニーズに沿った必要な各種情報を整理することができる。</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実際に中華料理店で習得した中国語を用いて会話が成立する。</li> <li>• ニーズに合わせた資料作成と発表ができる。</li> <li>• 他者の指摘をもとに資料を改善できる。</li> <li>• 中国語圏へ旅行に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界史などの教科書で割愛されている知識を説明(日本語可)できる。</li> <li>• 目的地での道案内(日本語可)ができる。</li> <li>• 中国語圏へ旅行に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 調べたことを他の学生とその保護者や教員に発表できる。</li> <li>• 他グループの学生と来場者からのフィードバックを踏まえて、作成した資料を改善できる。</li> <li>• 中国語圏へ旅行に行く。</li> </ul>
三連携	<p>連携1【進路】: グループワーク、グループディスカッション、観光・宿泊業の業界研究、PDCAサイクルの習得</p> <p>連携2【教室外】: コンペティションでの発表、中華料理店などでの会話、中国語圏へ旅行</p> <p>連携3【他教科】: 世界史、情報、デザイン</p>		

## 目標分解表

実践者: 上野振宇 / テーマ: 中国語圏「修学(研修)旅行」企画コンペティション

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
旅行者(学生)、保護者、修学(研修)旅行委員(教員)それぞれのニーズをインタビューする。	旅行者(学生)、保護者、修学(研修)旅行委員(教員)それぞれのニーズを理解できる。	旅行に必要な情報をニーズに沿って整理することができる。	他者の指摘をもとに各資料を改善できる。
グループ内でインタビュー内容を共有する。			
[形成的評価] 机間巡視でニーズについて把握			
旅行の候補地を各グループで相談する。	修学(研修)面とそれ以外のイベントを実施する意図や意義を説明できる。		
旅行会社や観光業界について調査・研究をする。			
修学(研修)面とそれ以外のメイン・サブイベントを各グループで相談する。			
世界遺産や観光名所などを調べる。	目的地までの移動手段や地理、物価などを調べることができる。		
移動手段、宿泊場所などの候補を各グループで相談する。			
旅行に必要な日数と各種費用を各グループで相談する。			
[形成的評価] 机間巡視で旅行に必要な情報について把握			
旅行中の禁止事項や注意事項を調べる。	旅行の全行程をまとめることができる。	旅行者(学生)用のガイドブック、コンペティション会場の掲示用ポスターを作成できる。	ニーズに沿った中国語圏への修学(研修)旅行を計画して、聞き手を満足させる資料作成と発表ができる。
旅行プランのタイトルとキャッチフレーズを考える。			
[形成的評価] ガイドブック、ポスターについて中間発表を行う(評価に含まない)			
旅行に必要な単語や短文を調べる。	想定される場面ごとに必要な中国語を整理することができる。	旅行中に想定される場面ごとに必要な中国語を正確に発音(会話)できる。	
読めない単語にはピンインを振る。	中国語を正確に発音できる。		
[形成的評価] 机間巡視で旅行に必要な単語や短文、ピンインや発音をチェック			
発表用の原稿を作成する。	発表用のPPTを作成できる。	旅行プランをプレゼンテーションすることができる。	
発表用のPPTを作成する。			
他グループのプランとの差別化を図る。			
プレゼンターはPPTを用いて口頭説明を練習する。	グループごとに発表時の役割を分担できる。		
他メンバーは使用が予想される中国語の発音を練習する。			
[総括的評価] 正確な移動時間と各種費用、明確な修学(研修)の意図があり、尚且つ関係者のニーズを取り入れた諸資料が作成できている。			

## 総括的評価のためのルーブリック

実践者: 上野振宇 / テーマ: 中国語圏「修学(研修)旅行」企画コンペティション

評価基準	目標以上の到達度 10点	目標に到達 7点	目標までもう少し 4点	目標まで努力が必要 1点
1:事前のニーズ調査	分担して、来場者の関心や不安点の傾向が分かるほどの調査ができた。	プラン作成につながる調査ができた。	プラン作成にはあまり役立たなかったが、分量は満たしている。	調査対象に偏りがあり、調査量も少ない。
2:グループ内の協働	リーダーシップや協調性を発揮している。	積極的であり、対立した意見でも受け入れられる。	受け身が多く、自分の意見がない。	後ろ向きな発言が多く、話し合いに参加しない。
3:各種資料作成と貢献度	PPT 以外の資料作成や貢献度が非常に高い。	苦手な作業も向上心を持って取り組めた。	指示待ちで苦手な作業を放棄している。	他のメンバーに任せっきり。
4:旅程の実現性と充実性	悪天候などのトラブルへの対応や代案まで用意されている。	無理無駄のない旅程であり、研修に必要な事前学習まで考えられている。	学んでほしいテーマや目的が曖昧な研修内容になっている。	移動時間などに無理があり、研修内容が乏しい。
5:中国語の正確性と分量	予想される場面が網羅され、正確な発音で発表できた。	メインの場面で必要な中国語は正確性も高く、分量も満たしている。	分量は少ないが、正確性だけは及第点だった。	正確性も低く、分量も少ない。
6:日本語によるプレゼンテーション	原稿を覚えて来場者の表情を見ながら、興味を喚起する発表ができた。	自分達の言葉で、必要な説明を必要な分量になっている。	コピペした文章に統一性を持たせている。	原稿ばかりを見て、コピペした文章を読み上げているだけ。
7:自己評価	正確な自己分析ができ、改善手段まで考えられていた。	グループ内評価との隔たりが少なく、全ての活動の正確な自己分析ができています。	グループ内評価との隔たりが少ないが、一部の活動の自己分析にとどまっている。	グループ内の評価とかけ離れた自己評価や一部の活動に絞った自己評価になっている。
8:他グループへの的確な指摘	全グループへの改善点や強みの指摘が、10に採用された。	全グループへの改善点や強みの指摘が的確だった。	一部のグループへの指摘が的確だった。	各ライバル企業(グループ)の発表を見ておらず、改善点や強みを発見できない。
9:来場者の投票、意見、提案	獲得票数が最多で、興味や関心を持った意見が多い。	獲得票数が上位だった。	獲得票数が下位だった。	獲得票数も少なく、意見や提案も全くない。
10:発表後の改善	7~9の全ての意見を踏まえた改善ができた。	7~9から2つの意見を踏まえた改善ができた。	7~9のいずれか1つの意見を踏まえた改善ができた。	全く改善が見られない。